

平成31年3月31日

平成30年度事業報告書

特定非営利活動法人
地域学習プラットフォーム研究会

1 事業の概要

インターネット市民塾等の実践を通して積み重ねてきた成果を、「生涯学習プラットフォーム」として広く役立てるため、研究開発＝「深める」、普及啓発＝「広める」、連携促進＝「つなぐ」をキーワードに事業を進めました。

2 主な事業

(1) 研究開発事業

インターネット市民塾の実践を、ICTを活用した地域人材育成、地域活性化を図る地域プラットフォームとして位置付け、これまで積み重ねてきた実践研究の成果をさまざまな形で地域に提供し、「市民の地域人材化を促進するプラットフォーム」が形成されるための研究に取り組見ました。

① eポートフォリオ研究を応用した学習成果活用支援の研究

地域人材の育成・顕在化と地域活性化は、各地のインターネット市民塾等が目標とする活動であり、その機能を高める研究に継続的に取り組んできました。

今年度は、「学習成果を生かす支援」が地域でより実践的に行われるよう、支援プログラムの改善や支援人材の養成プログラムを開発し、これまでの研究成果を生かして地域での試行評価を行いました。具体的には、大阪府茨木市教育委員会との共催により、学習成果活用支援相談会を実施しました。

第1回試行研究（平成30年2月～平成30年6月、大阪茨木市）

「学習成果の活用を支援する出番づくり応援相談会」として、市民の参加と茨城市立生涯学習センター等の相談員により試行的に支援プログラムを実施。

第2回試行研究（平成31年3月～、大阪茨木市）

第1回試行研究の評価と課題を元に、相談員の研修や支援プログラム等の改善を行い、第1回と同様に実際に市民参加者を対象とした試行研究を実施中。

(2) 普及啓発事業

地域づくりの有効なアプローチとして「市民の地域人材化を促進するプラットフォームづくり」を各地に提案し、インターネット市民塾の実践を通して取り組んだ研究の成果やノウハウを、広く役立てる普及活動を推進しました。

- ① 地域人材の顕在化を促進する地域プラットフォームに関するセミナー等の実施
各地のセミナー等の機会を通じ、多様な知識・経験を持つ市民が自発的に集まるしくみづくりと、地域人材による地域づくりの実践例を紹介し、地域プラットフォームとしての構築要件を提示した。
 - ・プラチナイブニングセミナー（平成 31 年 1 月、東京）
 - ・小杉まちづくり協議会研修会（平成 31 年 2 月、富山県射水市）
 - ・北陸の経営と情報を考える会（平成 31 年 3 月、富山市）
- ② 高齢者情報バリアフリー支援事業
モデル地域（富山市）での実践をもとにした、他地区での導入・運用を支援する活動を行いました。
 - ・大阪茨木市での活動状況を調査し、今後の発展についてのアドバイスを実施
 - ・富山県射水市で地域のシニアと短大生等の学生が学び合い、共通のテーマで街中の活性化を考える活動を企画し、発足を支援。

そのほか下記の活動を行いました。

- ③ 市民講師の出番づくりを通じた地域人材育成
インターネット市民塾等で講座を開催する市民講師を対象に、その実践的知識や経験を生かした地域活動の場を開発し、出前教室「寺子屋の日」を実施しました。
富山県富山市、射水市の放課後児童クラブ等での活動機会を開発。計 14 回、延べ約 136 人に前出教室を開催。
活動を通じて、講師活動の実践評価と勉強会を実施し人材育成活動を実施しました。
- ④ 活動発表
富山県等が主催する「元気ボランティア・NPO フェスティバル」で、高齢者情報バリアフリー支援や e 手仕事図鑑を活用した教育支援活動の発表を行いました。
- ⑤ オフィシャル Web を通じた活動情報の発信

（3）連携促進事業

各地のインターネット市民塾等の相互の連携、および各地から参加する会員相互の協働による事業活動の促進を図りました。

- ① e 手仕事図鑑を活用した教育支援
各地の教育支援で活用する e 手仕事図鑑のコンテンツを継続的に管理・提供しています。
- ② 研究会 Web サーバの共用活用
会員による e ラーニング講座の開催などへの利用に備えました。